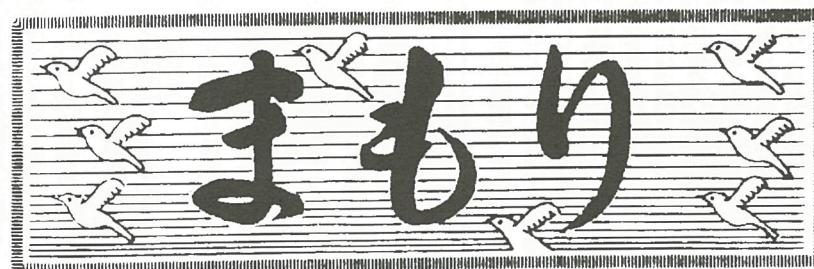




国土の繁栄と平和をまもろう

本会は自衛隊員の激励及び慰問、退職隊員の就職協力等を行うと共に自衛隊の諸行事に協力し隊員との親睦を図り、防衛思想の普及並びに隊員の健全な育成発展に協力する目的とする。



平成29年7月7日

発行所

大阪防衛協会

(〒541-0041) 大阪市中央区北浜4丁目
2番13号 淀屋橋今西ビル4F
TEL 06-6202-8284発行人 井上礼之
編集責任者 岩原康
印刷所 (株)DNPメディアサポート

平成29年度 大阪防衛協会会員総会終る

平成29年度

「国防は全国民の義務！」

総会で挨拶する
第6代会長 井上礼之氏

大阪防衛協会は6月6日大阪市内のホテルにおいて中部方面総監、鈴木純治陸将以下陸・海・空の指揮官等幹部約30名を招き、大阪防衛協会会員総会を行つた。第一部議案審議においては、平成28年度決算報告、平成29年度事業計画等について審議するとともに新しい役員の改選を行つた。第二部総会行事は、井上礼之会長が平素の陸海空自衛隊活動に対する感謝を表すとともに会員に対してはより厳しい環境でさらに対し感謝を表すとともに懇親会に移り、さらに会長から中部方面混成団に対しハガキ賞を授与した。

第三部記念講演では、ジャーナリストで学習院大学客員教授の岩田公雄氏が「世界の最前線に身を置いて」と題して熱弁を振った。第四部ではゲスト並びに岩田氏を交え、角南第3師団長の乾杯発声のもと懇親会に移り、大盛会の裡にすべての行事を終了した。

この度、大阪防衛協会平成29年度事
年度会員総会を迎えるに当た
り、一言、挨拶申し上げます。

本日は、大変お忙しい中、鈴
木中部方面総監、角南第3師団
長、岩崎呉地方総監部幕僚長、
荒木航空幹部候補生学校長を
始め、現職の部隊及び機関等の

田公雄氏が「世界の最前線に身を置いて」と題して熱弁を振つた。第四部ではゲスト並びに岩田氏を交え、角南第3師団長の乾杯発声のもと懇親会に移り、大盛会の裡にすべての行事を終了した。

鈴木純治陸将以下陸・海・空の指揮官等幹部約30名を招き、大阪防衛協会会員総会を行つた。第一部議案審議においては、平成28年度決算報告、平成29年度事業計画等について審議するとともに新しい役員の改選を行つた。第二部総会行事は、井上礼之会長が平素の陸海空自衛隊活動に対する感謝を表すとともに会員に対してはより厳しい環境でさらに対し感謝を表すとともに懇親会に移り、さらに会長から中部方面混成団に対しハガキ賞を授与した。

第三部記念講演では、ジャーナリストで学習院大学客員教授の岩田公雄氏が「世界の最前線に身を置いて」と題して熱弁を振つた。第四部ではゲスト並びに岩田氏を交え、角南第3師団長の乾杯発声のもと懇親会に移り、大盛会の裡にすべての行事を終了した。

指揮官、並びに会員の皆様にご出席をいただきました。誠に有り難うございました。
まず、大阪防衛協会の歴史を簡単に申し上げますと、昭和38年1月、北陸地方が豪雪に見舞われ、交通が途絶し、福井、新潟地方が孤立したとき、関西からも自衛隊が出動し、約ヶ月にわたり献身的な活動をされました。

しかし当時、世の中は未だ自衛隊に冷たく、労いの言葉もなかつた時代でしたので関西財界の有志の方々が自衛隊に対する感謝の気持を表すと同時に、自衛隊に対する国民の理解を深め、かつ激励しようという趣旨で、昭和39年2月24日に当協会が発足し、平成26年に創立50周年を盛大に祝つたばかりでございます。

戦後72年を迎えるに当たりまして、自衛隊を取り巻く環境は大きく変化してまいりました。

皆さんご承知の通り、北朝鮮はミサイル発射や核実験を頻繁に行い、中国は軍備の増強拡大（日本の約3倍以上の国防予算）と我が国の領海・領空を脅かす常軌を逸した危険な挑発を続けております。またロシアはクリミア半島や極東における軍事活動を活発化し、さらに西欧から

中東にかけてテロと紛争が頻発しており、特に我が国の生命線と言われます中東から我が国に至るシーレーンに多大の影響を及ぼす国々が不安定で、多くの脅威とリスクを抱えて推移しております。

私どもは改めて「自らの国は自ら守る」という自衛の精神を一層国民に根付かせるべく啓蒙活動に力を入れて参りたいと存

ご承知の通り、一昨年、安全保障関連法が成立し、昨年3月から施行されました。

従いまして米軍などへの武力攻撃で日本の存立が危ぶまれる事態に限り集団的自衛権の行使が可能になり、外國軍隊に対する後方支援、邦人救出やPKOにおける駆けつけ警護等が可能になります。

然しながら現行憲法の柱の一つに「国民主権」があり、国民は主権者なのだからすべての国民が「国防の義務」を背負つて

いる筈ですが、自衛官や米軍が主権者の国防義務を肩代わりしているものと全く勘違いしているのではないかと思われます。

私どもは改めて「自らの国は自ら守る」という自衛の精神を一層国民に根付かせるべく啓蒙活動に力を入れて参りたいと存

ご承知の通り、一昨年、安全保

「世界の報道最前線に身を置いて」

岩田公雄氏が自衛官に熱いエール



氏は74年読売テレビ入社後、84年グリコ森永事件、85年日航機墜落事故、86年三井物産若王子マニア支店長誘拐事件、91年中国天安門事件、92年北朝鮮ピヨンヤンから生中継、93年カンボジア自衛隊PKO、93年モザンビーク自衛隊PKO、96年ルワンダ自衛隊PKO、97年ペルル日本大使館公邸人質事件、01年米国同時多発テロ事件等々を記者として取材した。そして命がけで取材した。その実況してい

